



ドクターヘリ (AIRBUSHELICOPTERS EC135)

基本領域 救急科専門研修

基幹

- 公立豊岡病院(但馬救命)救急専門研修プログラム

連携

- 千葉ろうさい病院救急科専門研修プログラム
- 東京医科歯科大学救急科専門研修プログラム
- 北里大学病院救急科専門研修プログラム
- 富山県連携救急科専門医養成プログラム
- 愛知医科大学病院救急科専門医育成プログラム
- 豊川市民病院救急科専門医研修プログラム
- 京都大学医学部附属病院救急科専門研修プログラム
- 京都第二赤十字病院救急科専門研修プログラム
- 国立病院機構京都医療センター救急科専門研修プログラム
- 京都桂病院救急科専門研修プログラム
- りんくう総合医療センター泉州救急科専門研修プログラム
- 神戸大学医学部附属病院救急科専門研修プログラム
- 地域医療貢献型兵庫医科大学救急科専門医研修プログラム
- 神戸市立医療センター中央市民病院救急専門医養成プログラム
- 兵庫県立尼崎総合医療センター救急科専門研修プログラム
- 兵庫県災害医療センター救急科専門医研修プログラム
- 県立はりま姫路総合医療センター救急科専門研修プログラム
- 日本赤十字社和歌山医療センター救急科専門研修プログラム
- 鳥取大学医学部附属病院救急科専門研修プログラム
- 鳥取県立中央病院地域密着・全次対応救急科専門研修プログラム
- 島根大学医学部附属病院救急科専門研修プログラム
- 岡山大学病院救急科専門研修プログラム
- 県立広島病院救急科専門研修プログラム
- 健和会大手町病院救急科専門研修プログラム
- 佐賀大学医学部附属病院 救急科研修プログラム
- 長崎大学病院救急科専門研修プログラム
- 浦添総合病院救急科専門研修プログラム

1. 但馬救命救急センターの理念・特色

但馬救命救急センターは、病院前から救急外来、緊急手術、集中治療とシームレスにスピード感あふれる救急集中治療を提供しています。病院前から、A, B, Cの安定化のための処置、必要時、開胸大動脈遮断なども行い救急初療につながります。それにより病院搬入と同時に緊急手術、大量輸血が可能で、全国でもトップクラスの救命率を誇っています。都会で多くみられる3次救急だけを扱う救命救急センターではなく、1次～3次までのあらゆる救急患者の対応を行っており、365日、質の高い救急医療を院内全部門の総力をあげて提供します。

救命医療の本質は「どのような時でも患者が必要とする救急医療を迅速かつ適切に提供できるシステム」と、それを支える「チーム医療」です。ここではわれわれが目指す医療の内容と特色を説明します。

I Emergency Department

救急外来初期診療のみではなく、手術や入院が必要になった場合は必要に応じ専門診療科と協力をを行い、手術を含めた各種根治的治療、集中治療、救急病棟入院患者の診療も行います。日本でも数少ない「間口の広い、奥行きが深い」救命救急センターの形態をとっています。

北近畿エリアは救急医療過疎地域でもあり、但馬救命救急センターはまさに「最後の砦」として、救急応需率100%を誇っています。



II プレホスピタル

ドクターヘリ・ドクターカーの基地病院として「いつでも、どこでも、誰にでも」迅速かつ良質な救急医療を提供出来るよう努力します。



Ⅲ Acute Care Surgery

診療領域として外傷外科、救急外科、外科集中治療およびsurgical rescueをQuaternityで扱います。



Ⅳ 集中治療

内科系、外科系を問わず、重篤な急性機能不全に陥った患者の全身状態を安定化させて、早期回復に向かわせるため、専門性の高い急性期管理を提供します。



Ⅴ メディカルコントロール

消防機関の救急隊員、救急救命士の行う救急救命処置の医学的な質を保障するため、①指示、指導・助言 ②事後検証 ③教育を組織的、体系的に実施しています。



Ⅵ 災害医療

日常診療から災害医療まで災害医療体制を整えて、地域における健康危機管理の中核機能を果たします。日頃やっていないことを災害時にわかに行うことには限界があり、われわれは日常診療の延長線上に災害医療があると考え日々の診療にあたっています。



Ⅶ 研修・人材育成

救急医療、集中治療、災害医療に携わる人材を幅広く養成する拠点となります。また病院前救急医療を担うフライトドクターの育成には特に力をいれており、厳格な基準を設けon the job trainingを行っています。

off the job trainingにも力を入れており、ICLS、JPTEC、MCLS、PSLSなどメディカンコントロールに絡ませ、定期的なコース開催に関わっています。



2. 目標・プログラム

救急／急性傷病について、軽症から重症まで、内因・外因、老若男女を問わず、病院前救急診療(ドクターヘリ、ドクターカー)・初療対応・ICU管理・一般病棟管理・外来診療まで一貫した診療を行うことができ、かつ重症患者に対しては救命救急処置／根治的治療／集中治療を行うことができる救急科専門医の養成を目指します。

3. 週間予定

(チーム制、変則2交代制)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
8:00～8:15	ドクターヘリ、カースタッフブリーフィング・点検						
8:00～8:15	初療申し送り(全勤→日勤) ICU/HCU退出候補決定(全勤責任者)						
8:30～9:30	カンファレンス(前日救急科入院患者、申し送り、連絡事項、前日ヘリ・カー症例)						
カンファレンス終了後 ～ 10:00	回診(ICU/HCU)	総回診(全病棟)	回診(ICU/HCU)	総回診(全病棟)	回診(ICU/HCU)	総回診(全病棟)	回診(ICU/HCU)
回診方法: ベッドサイドでのプレゼンテーションは最小限で、必要に応じて診療を行う。 ★回診責任者 センター長不在時は当日全日勤務責任医師が代役 ★回診責任者 前日・当日勤務中の医師 日勤医師は初療対応優先							
10:00～12:00	診療						
12:00～12:30				ランチョンミーティング ★薬説明会(適宜)	ランチョンミーティング ★M&Mカンファレンス (ICUにて、看護部 合同、適宜)		
12:30～17:30	診療						
17:30～18:00	申し送り(日勤→全勤) 全勤責任者は夕方回診						
18:00～翌8:00	診療 夜は更けてゆく						

4. 指導医・スタッフ

センター長 兼部長 永嶋 太 ながしま たい 1999年卒	副センター長 兼副部長 松井 大作 まつい だいさく 2005年卒	副センター長 兼副部長 番匠谷 友紀 ばんしょうたに ゆき 2005年卒	医長 藤崎 修 ふじさき おさむ 2008年卒
---	---	--	----------------------------------

博士(医学) 佐賀大学 2019年

専門	救急医学,集中治療学,救急・外傷外科学,病院前救急医療学,災害医学,医学教育
認定	日本救急医学会専門医・指導医・評議員,日本集中治療医学会専門医・評議員,日本外科学会専門医・指導医,日本外傷学会専門医・評議員,日本Acute Care Surgery学会認定外科医・評議員,日本腹部救急医学会認定医・評議員,日本急性血液浄化学会認定指導者,日本航空医療学会認定指導者・評議員,日本DMAT隊員・統括DMAT,臨床研修指導医

専門	救急医学,集中治療学,救急・外傷外科学,熱傷,病院前救急医療学
認定	日本救急医学会専門医,日本航空医療学会認定指導者,日本DMAT隊員,臨床研修指導医

専門	救急医学,集中治療学,救急・外傷外科学,病院前救急医療学
認定	日本救急医学会専門医・指導医・評議員,日本集中治療医学会専門医,日本外科学会専門医,日本外傷学会専門医・評議員,日本腹部救急医学会認定医,日本航空医療学会認定指導者,日本DMAT隊員,臨床研修指導医

専門	救急医学,集中治療学,総合内科学,病院前救急医療学
認定	日本救急医学会専門医,日本航空医療学会認定指導者,ICD,日本DMAT隊員,臨床研修指導医

医長 北村 遼一 きたむら りょういち 2008年卒

専門	救急医学,集中治療学
認定	日本救急医学会専門医,日本IVR学会専門医

医長 菊川 元博 きくかわ もとひろ 2010年卒

専門	救急医学,集中治療学
認定	日本救急医学会専門医,日本外科学会専門医,日本集中治療医学会専門医,日本Acute Care Surgery学会認定外科医,日本航空医療学会認定指導者,臨床研修指導医

医長 間 崇史 まがま たかし 2011年卒

専門	救急医学,集中治療学,放射線科学
認定	日本専門医機構認定救急科専門医・放射線科専門医,日本航空医療学会認定指導者,腹部ステントグラフィ実施医,日本DMAT隊員,臨床研修指導医

医長 松田 知也 まつだ ともや 2014年卒

専門	救急医学,集中治療学,救急外科学
認定	日本救急医学会専門医,日本外科学会専門医,日本集中治療医学会専門医,日本腹部救急医学会認定医,日本外傷学会専門医,日本DMAT隊員,JATECインストラクター,臨床研修指導医

医長 富澤 悠貴 とみざわ ゆうき 2014年卒

専門	一般外科,ER
認定	日本外科学会専門医,TNT研修会修了

医長 柿崎 結美 かきざき ゆみ 2016年卒

専門	救急医学,集中治療学,病院前救急医療学
認定	日本専門医機構認定救急科専門医,日本航空医療学会認定指導者

医長 北島 大悟 きたじま だいご 2016年卒

専門	救急医学,集中治療学
認定	日本専門医機構認定脳神経外科専門医,日本脳神経血管内治療学会専門医

医員 高田 京加 たかた きょうか 2018年卒

専門	救急医学,集中治療学
----	------------

医員	酒井 鷹平
大学卒業年	2019年卒
専門	救急医学,集中治療学

医員	佐々木 啓太
大学卒業年	2019年卒
専門	救急医学,集中治療学

医員	脇山 史美子
大学卒業年	2020年卒
専門	救急医学,集中治療学

医員	塚本 光政
大学卒業年	2021年卒
専門	救急医学,集中治療学

医員	松村 啓良
大学卒業年	2021年卒
専門	救急医学,集中治療学

医員	若山 太一
大学卒業年	2022年卒
専門	救急医学,集中治療学

医員	前川 義成
大学卒業年	2022年卒
専門	救急医学,集中治療学

医師	浅田 充夫
大学卒業年	2021年卒
専門	救急医学,集中治療学

医師	濱口 悠
大学卒業年	2019年卒
専門	救急医学,集中治療学

5. 診療設備等



ドクターカー



DMATカー

6. 診療実績

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
救命救急センター受診患者数	16,356人	12,780人	12,250人	13,320人	13,179人
救急搬送患者数	6,452件	6,047件	5,935件	6,615件	6,719件
(救急車)	3,987件	3,523件	3,554件	4,238件	4,524件
(ドクターヘリ)	1,284件	1,281件	1,181件	1,258件	1,161件
(ドクターカー)	1,181件	1,243件	1,200件	1,119件	1,034件
ウォークイン	9,904件	6,733件	6,315件	6,705件	6,460件
救命救急センター入院患者数	3,762人	3,540人	3,544人	3,666人	3,597人
救急科	1,588人	1,590人	1,530人	1,543人	1,361人
他科	2,182人	1,878人	2,014人	2,123人	2,236人

7. 学会認定施設

日本救急医学会指導医指定施設

日本救急医学会救急科専門医指定施設

日本集中治療医学会専門医研修施設

日本専門医機構認定集中治療科専門研修施設

日本外傷学会外傷専門医研修施設

日本航空医療学会認定制度指定施設

日本急性血液浄化学会指定施設

日本腹部救急医学会教育医制度認定施設

NCD 参加施設

8. 基幹プログラム

公立豊岡病院(但馬救命)救急専門研修プログラム

但馬救命救急センターでは、病院前から救急外来、緊急手術、集中治療とシームレスにスピード感あふれる救急集中治療を提供しています。病院前から、A,B,Cの安定化のための処置、必要時、開胸大動脈遮断なども行い、救急初療につなぎます。都会で多くみられる3次救急だけを扱う救命救急センターではなく、1次～3次までのあらゆる救急患者の対応を行っており、軽症から超重症まで、幅広い救急医療が学べ、救急集中治療の真髄を身につけられます。

また、病院前救急診療から高度な救急・集中治療ばかりでなく、ER診療、根本的治療、集中治療、一般病棟治療と外来フォローまで行っています。救急の入り口前から出口後までの一貫した救急診療過程を実践しています。これらを実践することにより、救急患者さんの治療過程と回復過程を含めた全過程を実践・経験できるため、救急領域のあらゆることに対応できる能力を身につけることが可能です。

さらに研修期間中は多彩な臨床の経験や、チーム内での指導・育成に留まらず、定期抄読会、ECMOシミュレーション、REBOA、外科手術手技講習会、プレホスピタルシミュレーション、重症コマンドシステムシミュレーション、Rapid CTシミュレーションなどのシミュレーション教育、JATEC、JPTEC、IGLS、MCLS、PEMECなどのoff the job trainingにも積極的に参加していただいています。

病院前救急診療に関しては、当地域のメディカルコントロール体制を把握し、救急初療がある程度できるようになった段階で、まずドクターカー研修を開始します。ドクターカーの経験がある程度積んだ段階で、ドクターヘリの研修が始まります。また、Acute Care Surgeonを目指す場合には、早い段階で、手術に積極的に入っていただきます。

研修プログラム基本モジュール(2024年度モデル)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	研修領域	<ul style="list-style-type: none"> 指導医とともに初療、集中治療、病棟管理 気道管理、緊急麻酔対応、蘇生管理 Clinical Research 						<ul style="list-style-type: none"> 単独初療、集中治療、病棟管理 ドクターヘリ研修、ドクターカー研修 MC(Hot Line) 					
	研修病院	公立豊岡病院(但馬救命救急センター)											
2年目	研修領域	<ul style="list-style-type: none"> 地域救急医療 ER+IVR研修 病棟連携 			<ul style="list-style-type: none"> 小児救急集中治療 都市部救急医療 Clinical Research 			<ul style="list-style-type: none"> 単独初療、集中治療、病棟管理 ドクターヘリ研修、ドクターカー研修 MC(Hot Line、検証表) Clinical Research 					
	研修病院	(施設選択)			(施設選択)			施設選択 又は 豊岡病院			公立豊岡病院(但馬救命救急センター)		
		連携施設(関連施設)から2施設を選択し、それぞれ3ヶ月間研修を行う。						連携施設(連携施設) 又は 公立豊岡病院 (プログラム責任者と協議のうえ決定)					
3年目	研修領域	<ul style="list-style-type: none"> 指導的立場 初療、集中治療、病棟管理 ドクターヘリ研修、ドクターカー研修および単独乗車 MC(医学教育、検証会議出席) 						<ul style="list-style-type: none"> 兼務としてSpecialty院内研修も考慮(3～6ヶ月) Clinical Research 					
	研修病院	公立豊岡病院(但馬救命救急センター)											

※連携施設(関連施設)

①千葉労災病院、②東京医科歯科大学病院、③北里大学病院、④富山大学附属病院、⑤藤田医科大学病院、⑥豊川市民病院、⑦京都大学医学部附属病院、⑧京都第二赤十字病院、⑨京都医療センター、⑩京都桂病院、⑪りんくう総合医療センター、⑫神戸大学医学部附属病院、⑬兵庫医科大学病院、⑭兵庫県立尼崎総合医療センター、⑮兵庫県立はりま姫路総合医療センター、⑯兵庫県立こども病院、⑰神戸市立医療センター中央市民病院、⑱兵庫県災害医療センター、⑲関西労災病院、⑳日本赤十字社和歌山医療センター、㉑鳥取大学医学部附属病院、㉒鳥取県立中央病院、㉓鳥根大学医学部附属病院、㉔岡山大学病院、㉕津山中央病院、㉖県立広島病院、㉗健和会大手町病院、㉘佐賀大学医学部附属病院、㉙長崎大学病院、㉚沖永良部徳洲会病院、㉛浦添総合病院、㉜中部徳洲会病院、㉝南部徳洲会病院、㉞沖縄県立八重山病院

※院外研修は、事前に専攻医とプログラム責任者が院外研修を行う病院、期間及び時期等を十分に協議し、希望病院と派遣条件を調整のうえ決定する

専攻医からのメッセージ



濱口 悠 医師
(写真は沖縄県立八重山病院研修時のもの)

学生の頃から『コード・ブルー』のような救命救急に憧れていました。インターネットで調べると、当院はヘリ出動件数が日本で、自分達で手術もしているようでしたので、研修先として選びました。

入ってみると、診療の圧倒的なスピード感到に驚きました。

ドクターヘリで挿管、トロッカー挿入などのABC安定化を行い、病院に戻れば手術開始という流れがドラマで見たそのものでした。

自分がコマンダーとして現場で指揮をとるのは最初は本当に大変でしたが、重症症例は全て当院に搬送されるので多くの経験ができますし、指導医の先生方のサポートのおかげで少しずつ自分の成長を感じられています。

本物の救命救急を見たい方、是非一度見学に来てください！

指導医からのメッセージ

当センターは、ドクターヘリ、カー出動件数日本で、病院前から救急外来、緊急手術、集中治療とシームレスにスピード感ある救急集中治療を提供していることが特徴です。病院前から、A, B, Cの安定化の処置や、必要時には開胸大動脈遮断なども行い、救急初療につなぎます。それによって病院搬入と同時に緊急手術、大量輸血が可能となり、全国トップクラスの救命率を誇っています。都会で多くみられる三次救急だけ扱う救命センターではなく、一次～三次までのあらゆる救急患者に対応しており、幅の広い救急医療が学べるはず

です。当センターには医局制度はありません。よって医局の事情で希望していない関連病院に行っていたかようなことは決してありません。むしろ、研修したい病院があれば、その病院と交渉し、積極的に研修に行っています。

また、将来のキャリアプランについて相談があれば、我々の経験をもとにしっかり提示させていただいています。サブスペシャリティを学びに行く、大学院に行く、留学する、救急集中治療を極めるなど、目標と計画を明確化し、次のステップでも成長できるようにバックアップします。

ここでは「真の救急医療」が学べます。学んだ救急医療や救急医療体制は特に地域では大いに役立ち、地元にかえたらその地域の救急の中心的存在となることは間違いありません。年齢や専門科を問わず、数ヶ月の短期間研修でもどんどん受け入れています。一緒に「但馬救命」で救急をやってみませんか？

まずはぜひ見学に来てください。リアルな『コード・ブルー』、『救命病棟24時』の世界が見られます。



センター長 永嶋 太

プログラム・資料に関する問い合わせ先

TEL 0796-22-6111(代表)

FAX 0796-22-0170

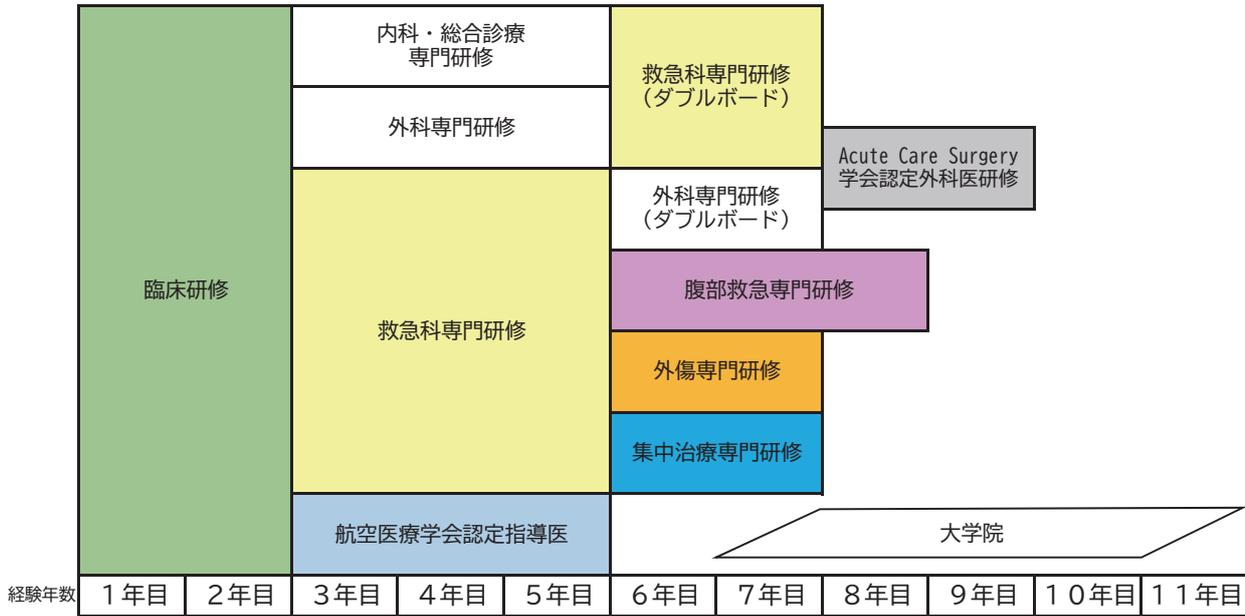
e-mail Tajima.kyuemi@gmail.com(救命救急センター)
kensyucenter@toyookahp-kumiai.or.jp(人材育成・研修支援センター)

website <http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/toyooka/>

〒668-8501 兵庫県豊岡市戸牧1094

公立豊岡病院但馬救命救急センター/公立豊岡病院組合 人材育成・研修支援センター

但馬救命救急センターでのキャリア形成



- … 公立豊岡病院(但馬救命)救急専門研修プログラム(日本専門医機構認定)
- … 日本集中治療学会専門医研修施設
- … 日本航空医療学会認定制度指定施設
- … 日本外傷学会外傷専門医研修施設
- … 日本腹部救急医学会教育医制度認定施設
日本急性血液浄化学会認定指定施設
NCD参加施設

